

平成22年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 391

所管部局	農林商工部	所管課	農政課	担当者名	寺田 利裕
事業名	米生産調整事業			事業分類	ソフト事業
細事業名	水田協議会事業			政策体系	233
会計	一般会計	科目	6.農林 - 1.農業 - 3.農業		

1. 事業の概要

米の需要情報を地域水田農業推進協議会に提供し、配分基準単収を設定し、「認定方針作成者」に通知するなど米の生産調整を推進する。

2. 事業の目的と必要性

① 施策で目指す目標との関連付け

南丹ブランド生産者等への支援、南丹ブランドの販路拡大として、需要に応じた市場競争力のある米づくりと水田の有効活用による地域の実情に応じた特色のある産地づくりの推進が図れる。

② 事業を実施する必要性

南丹市地域水田農業推進協議会と連携し、米づくりと水田の有効活用を図るためには、本事業により南丹市地域水田農業ビジョンの策定及び見直し、米の需要情報の提供、南丹市地域水田農業推進協議会との連絡調整が必要である。

3. 事業費の推移

	単位	平18決算	平19決算	平20決算	平21決算	平22予算	平23計画	平24計画
決算額または計画額	千円	1,620	1,621	1,008	674	675	675	675
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等	千円	0	0	0	0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円	0	0	0	0	0	0
	国・府支出金	千円	1,620	1,620	1,004	670	670	670
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	0	1	4	4	5	5
職員等の従事人員	人/年	—	—	0.40	0.40			
人件費	千円	—	—	2,575	2,351			
事業費総額	千円	—	—	3,583	3,025			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。
※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

4. 主な事業費の内訳

地域農業ビジョンの見直しに係る指導等	253,831円
配分基準単収の設定等	170,000円
生産調整方針の作成等	170,000円
水田台帳の整備等	80,000円

5. 事業結果の概要

南丹市地域水田農業推進協議会総会 1回開催
南丹市地域水田農業推進協議会臨時総会 2回開催
集落への米の配分量の情報提供

6. 活動の詳細

活 動 内 容	活動日又は時期	活 動 結 果 等
(1) 水田協議会との調整		
南丹市地域水田農業推進協議会の総会開催に向け、事務局との連絡調整	4月	4月22日 総会開催
南丹市地域水田農業推進協議会の臨時総会開催に向け、事務局との連絡調整及び事務局会議の開催	7月～8月 事務局会議	8月6日 臨時総会開催
南丹市地域水田農業推進協議会の臨時総会開催に向け、事務局との連絡調整及び事務局会議の開催	12月～1月 事務局会議	1月13日 臨時総会開催
(2) 説明会等への参加		
新対策及び緊急対策等の事業説明会に参加	7～2月	臨時総会で提案
(3) 配分基準単収の設定等		
京都府からの情報提供を受け、米の配分基準単収を設定し、認定方針作成者へ米の配分量の情報を提供	12～1月	7967.67t、1540.61haの配分量の情報提供
(4) 地域水田ビジョンの見直し		
毎年度の地域水田ビジョンの見直しのため、連絡調整	2～3月	平成22年4月の総会で提案予定

7. 所属長評価〔平成20年度から改善した点、今後の展開など〕

水田農業の推進は、平成22年度より「戸別所得補償モデル対策」として新たな制度改正となる。

【参考】過年度の評価

■平成21年度の所属長評価

- ①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点
市内の作物振興の状況把握
- ②当該事業のアピール事項
水稲以外の作物栽培に係る生産費用の助成
- ③反省点、今後の展開・方向性等
国事業として引き続き対象とする